



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2281 URL http://www.primaham.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 鉄也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 前田 茂樹 (TEL) 03 (6386) 1800
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 78,232 | 9.6 | 1,742 | △1.1 | 2,010 | △6.2 | 1,055 | 18.5 |
| 26年3月期第1四半期 | 71,350 | 8.7 | 1,760 | 9.2 | 2,143 | 11.1 | 891 | △12.2 |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,280百万円 (△7.0%) 26年3月期第1四半期 1,377百万円 (20.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 4.72 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 3.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 125,841 | 48,544 | 32.9 |
| 26年3月期 | 119,261 | 47,307 | 33.6 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 41,339百万円 26年3月期 40,086百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | — | — | 2.00 | 2.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|-------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 151,000 | 2.3 | 3,800 | △6.1 | 4,000 | △10.5 | 1,700 | 14.2 | 7.60 |
| 通期 | 307,000 | 1.1 | 8,200 | △7.0 | 8,600 | △7.5 | 4,000 | △4.6 | 17.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 27年3月期1Q | 224,392,998株 | 26年3月期 | 224,392,998株 |
| 27年3月期1Q | 636,474株 | 26年3月期 | 633,915株 |
| 27年3月期1Q | 223,757,894株 | 26年3月期1Q | 223,791,692株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月からの消費税増税という環境下、景気の減速が懸念されましたが、企業収益の改善による賃金上昇、雇用環境の改善などが進むなか、消費者物価の上昇がみられるものの、個人消費は底固い状況で推移しました。しかしながら、人手不足や燃料費、原材料価格の上昇が顕在化するなか、企業環境や消費動向は先行き不透明な状況にあります。

当業界におきましては、食肉、ハム・ソーセージの消費は比較的堅調に推移するものの、低価格、節約志向は根強いものがあり厳しい販売環境が継続しました。また、コスト面においては食肉相場の高止まりによる仕入商品・原材料価格の高騰、包装資材、ユーティリティ価格の上昇など事業環境は引き続き厳しい状況が継続しました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み収益の確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は782億32百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は17億42百万円（同1.1%減）、経常利益は20億10百万円（同6.2%減）、四半期純利益は10億55百万円（同18.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工食品事業本部>

① ハム・ソーセージ部門

ハム・ソーセージ部門においては、「香薫あらびきポークウインナー」をはじめとする重点コンシューマー商品の拡販、中食・外食向け業務用商品においては確かな商品開発力と連動して、数量、客先の拡大に注力しました。生産面におきましては、厳しいコストアップの環境下にありましたが、引き続き生産性向上に取り組みコスト競争力アップに努めました。生産、販売一体となった取組みの結果、ハム・ソーセージ部門においては、売上高、販売数量とも前期を上回る結果となりました。

② 加工食品部門

加工食品部門におきましては、多様な客先、ニーズに応えるべく開発、営業一体となって取組み、コンビニエンスストア向け商品を中心に引き続き好調な伸びとなりました。また、コンビニエンスストア向けのベンダー事業においては、新工場（愛媛県新居浜市）の稼働による初期費用の発生や、製造原価のアップにより前期を下回る利益となりました。

以上の結果、加工食品事業本部における売上高は、523億51百万円（前年同期比13.1%増）となり、セグメント利益は14億59百万円（同14.6%減）となりました。

<食肉事業本部>

食肉相場はおおむね前期を上回る水準で推移しました。特に豚肉相場は、米国、国内で発生した豚の疾病（PED）による出荷頭数減もあり高止まりの状況となりました。こうした環境下、引き続きオリジナルブランド商品の拡販、得意先の新規・深耕開拓に努め収益の改善を図りました。

以上の結果、食肉事業本部における売上高は、258億24百万円（前年同期比3.3%増）となり、セグメント利益は2億79百万円（同375.6%増）となりました。

<その他>

その他事業の売上高は、56百万円（前年同期比24.4%減）となり、セグメント利益は3百万円（前年同期は7百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて65億80百万円増加の1,258億41百万円となりました。これは主に、季節変動等により受取手形及び売掛金が24億13百万円、たな卸資産が36億89百万円、退職給付に係る資産が26億13百万円それぞれ増加し、現金及び預金が39億77百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べて53億43百万円増加し772億97百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が51億5百万円増加し、未払法人税等が10億55百万円、賞与引当金が6億95百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて12億37百万円増加し、485億44百万円となりました。これは主に、利益剰余金が11億35百万円増加したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて39億71百万円減少(前年同期は4億74百万円の減少)し42億69百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益22億7百万円があったものの、売上債権の増加24億13百万円、たな卸資産の増加36億89百万円などにより営業活動における資金は8億31百万円減少(前年同期は18億53百万円の増加)しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

生産設備更新および新規設備投資などのため、有形固定資産の取得による支出26億30百万円により投資活動による資金は23億98百万円減少(前年同期は16億26百万円の減少)しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入れによる収入5億円があったものの、長期借入金の返済による支出5億83百万円および配当金の支払4億10百万円などにより財務活動における資金は7億32百万円減少(前年同期は7億31百万円の減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日付け公表の「平成26年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法についても変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が245百万円、利益剰余金が500百万円増加し、退職給付に係る負債が343百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,672 | 4,694 |
| 受取手形及び売掛金 | 29,520 | 31,934 |
| 商品及び製品 | 9,937 | 13,360 |
| 仕掛品 | 362 | 434 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,350 | 1,544 |
| 繰延税金資産 | 726 | 743 |
| その他 | 1,250 | 1,489 |
| 貸倒引当金 | △6 | △6 |
| 流動資産合計 | 51,814 | 54,195 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 20,802 | 21,543 |
| 土地 | 18,316 | 18,200 |
| その他（純額） | 12,975 | 13,625 |
| 有形固定資産合計 | 52,094 | 53,369 |
| 無形固定資産 | 844 | 823 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,464 | 5,663 |
| 退職給付に係る資産 | 3,893 | 6,507 |
| その他 | 5,723 | 5,822 |
| 貸倒引当金 | △573 | △538 |
| 投資その他の資産合計 | 14,507 | 17,454 |
| 固定資産合計 | 67,447 | 71,646 |
| 資産合計 | 119,261 | 125,841 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 32,303 | 37,409 |
| 短期借入金 | 961 | 954 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,514 | 3,394 |
| 未払法人税等 | 2,524 | 1,469 |
| 賞与引当金 | 1,195 | 499 |
| 役員賞与引当金 | 45 | — |
| その他 | 9,731 | 10,346 |
| 流動負債合計 | 50,275 | 54,072 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 11,523 | 11,559 |
| 退職給付に係る負債 | 4,378 | 3,998 |
| 資産除去債務 | 112 | 245 |
| その他 | 5,663 | 7,420 |
| 固定負債合計 | 21,678 | 23,224 |
| 負債合計 | 71,953 | 77,297 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,363 | 3,363 |
| 資本剰余金 | 3,964 | 3,964 |
| 利益剰余金 | 28,923 | 30,058 |
| 自己株式 | △73 | △73 |
| 株主資本合計 | 36,178 | 37,313 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,170 | 1,293 |
| 繰延ヘッジ損益 | △10 | △12 |
| 土地再評価差額金 | 2,287 | 2,260 |
| 為替換算調整勘定 | 42 | 4 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 418 | 480 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,908 | 4,026 |
| 少数株主持分 | 7,220 | 7,204 |
| 純資産合計 | 47,307 | 48,544 |
| 負債純資産合計 | 119,261 | 125,841 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 71,350 | 78,232 |
| 売上原価 | 60,290 | 66,701 |
| 売上総利益 | 11,060 | 11,531 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,299 | 9,789 |
| 営業利益 | 1,760 | 1,742 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 51 | 57 |
| 持分法による投資利益 | 16 | 1 |
| 事業分量配当金 | 153 | 98 |
| 受取返戻金 | 121 | 38 |
| その他 | 164 | 163 |
| 営業外収益合計 | 506 | 359 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 54 | 50 |
| 貸倒引当金繰入額 | 49 | — |
| その他 | 19 | 40 |
| 営業外費用合計 | 124 | 90 |
| 経常利益 | 2,143 | 2,010 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 233 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 3 |
| 受取補償金 | 126 | 25 |
| その他 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 127 | 262 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 15 | 2 |
| 固定資産除却損 | 18 | 30 |
| 減損損失 | — | 32 |
| 施設利用権解約精算金 | 9 | — |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 43 | 65 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,226 | 2,207 |
| 法人税等 | 947 | 1,063 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,279 | 1,144 |
| 少数株主利益 | 388 | 88 |
| 四半期純利益 | 891 | 1,055 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,279 | 1,144 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42 | 122 |
| 繰延ヘッジ損益 | △10 | △3 |
| 為替換算調整勘定 | 31 | △36 |
| 退職給付に係る調整額 | — | 62 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 33 | △7 |
| その他の包括利益合計 | 97 | 136 |
| 四半期包括利益 | 1,377 | 1,280 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 978 | 1,200 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 398 | 80 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,226 | 2,207 |
| 減価償却費 | 1,118 | 1,272 |
| 減損損失 | — | 32 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 49 | △34 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △646 | △740 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 34 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | — | △217 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | △391 | — |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | — | △1,991 |
| 受取利息及び受取配当金 | △51 | △57 |
| 支払利息 | 54 | 50 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △0 | △3 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △16 | △1 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | 14 | △230 |
| 有形固定資産除却損 | 18 | 30 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,851 | △2,413 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △143 | △183 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △2,012 | △3,689 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 4,676 | 5,105 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 753 | 1,175 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △211 | △74 |
| 長期未払金の増減額(△は減少) | △56 | 1,038 |
| その他 | △61 | △5 |
| 小計 | 3,503 | 1,269 |
| 利息及び配当金の受取額 | 60 | 54 |
| 利息の支払額 | △54 | △49 |
| 法人税等の支払額 | △1,655 | △2,105 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,853 | △831 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,172 | △2,630 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 11 | 377 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △89 | △45 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △41 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △7 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | △216 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 | 11 |
| 貸付けによる支出 | △80 | △100 |
| 貸付金の回収による収入 | 1 | 1 |
| 敷金の差入による支出 | △7 | △11 |
| 敷金の回収による収入 | 10 | 24 |
| 定期預金の増減額(△は増加) | △0 | △0 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △26 | △12 |
| その他 | △13 | △4 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,626 | △2,398 |

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 513 | △4 |
| リース債務の返済による支出 | △87 | △95 |
| 長期借入れによる収入 | — | 500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △658 | △583 |
| 社債の償還による支出 | △21 | △20 |
| 割賦債務の返済による支出 | △20 | △20 |
| 配当金の支払額 | △393 | △410 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △62 | △96 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △731 | △732 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △474 | △3,971 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,535 | 8,240 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,060 | 4,269 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|--------|-------------------------------|
| | 加工食品 事業本部 | 食肉事業 本部 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 46,270 | 25,005 | 71,275 | 75 | 71,350 | — | 71,350 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 12 | 7,118 | 7,130 | 15 | 7,145 | △7,145 | — |
| 計 | 46,282 | 32,123 | 78,405 | 90 | 78,496 | △7,145 | 71,350 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,709 | 58 | 1,768 | △7 | 1,760 | 0 | 1,760 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|---------|-------------------------------|
| | 加工食品 事業本部 | 食肉事業 本部 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 52,351 | 25,824 | 78,175 | 56 | 78,232 | — | 78,232 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11 | 10,270 | 10,282 | 13 | 10,296 | △10,296 | — |
| 計 | 52,363 | 36,094 | 88,457 | 70 | 88,528 | △10,296 | 78,232 |
| セグメント利益 | 1,459 | 279 | 1,738 | 3 | 1,742 | 0 | 1,742 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「加工食品事業本部」セグメントにおいて32百万円の減損損失を計上しております。これは、移転予定事業所の土地・建物等に係る帳簿価額を回収可能価額まで減額したものです。